



いちばん乗りは、明電舎。

MEIDEN Engineer's Note : No.7 EV 駆動システム(モータ&インバータ)

世界に先駆け三菱自動車が量産した電気自動車i-MiEV。そのモータとインバータをつくりているのが、実は明電舎なんです。ガソリンの燃焼とともにエンジンに比べ、電気で回転するモータはとても静か。低回転から大きなトルクを生みだすことができるので、加速でもガソリンエンジンに負けません。変速ギアの代わりに高応答のインバータがモータに流す電気をコントロールし、スピードやパワーをスムーズに制御します。EVの

燃費、つまり電費を高めるためには、駆動システムの消費電力抑制と小型軽量化が必要でした。そこには、量産型EVが誕生する20年以上も前から、駆動システムの開発に取り組んできた明電舎の技術が注ぎ込まれています。CO₂を出さない未来のクルマが、「ふつうのクルマ」になる日も、そう遠くはないのかもしれません。明電舎のエンジニアたちは、そんな未来に想いを走らせながら、今日も駆動システムの性能を高めようとしている。



EV乗ってる？エンジニアズノートはWebにものってる！ | 明電舎 エンジニアズノート

検索

テクノロジーで、流れを変える。 株式会社 明電舎